

雁の寺 (1962)

メディア 映画
ジャンル ドラマ 文芸
製作国 日本
色彩 B&W/C
時間 97分
初公開日 1962/01/21
リバイバル 1964/04/25

【解説】

雁の襖絵で知られ、人々に雁の寺と呼ばれている禅寺。厳しい戒律に守られたこの寺に、襖絵の作者南嶽の妾、里子がやってきた。南嶽の死後、彼の遺言でこの寺に預けられたのだった。やがて、住職は里子の肉に溺れ、少年僧はその愛欲のさまを盗み見て……。水上勉の直木賞受賞作を「幕末太陽傳」の川島雄三監督が若尾文子主演で映画化した官能的でサスペンスフルな文芸ドラマの傑作。本作が単なる名作以上の出来となる上で、川島監督が絶賛したと言われる村井博の絵画的構図を意識した斬新なカメラワークが果たした役割は見逃せない。

【クレジット】

監督 川島雄三
製作 永田雅一 [製作]
企画 久保寺生郎
三熊将暉
原作 水上勉
脚本 舟橋和郎
川島雄三
撮影 村井博
美術 西岡善信
編集 宮田美津三
音楽 池野成
助監督 湯浅憲明
出演 若尾文子 桐原里子
木村功 宇田竺道
高見国一 堀之内慈念
三島雅夫 北見慈海
山茶花究 雪州
中村鴈治郎 岸本南嶽
万代峰子 桐原たつ
菅井きん おかん
金剛麗子 岸本秀子
荒木忍 独石
寺島雄作 桐原伊三郎
石原須磨男 喜七
西村晃 木田黙堂

北野拓也
天野一郎
伊達三郎
藤川準

徳全
助三
久間平吉
兄 平三郎